

ネイチュア・フィーリング研修会・愛知県

音・風・味・香り・温もり

見つける 感じる 伝えあう

日本自然保護協会が進める自然観察手法であるネイチュア・フィーリング。老若男女、からだの不自由な方も含め、誰とでも五感をフルに使って自然を観察し、感動を分かちあい、自然のしくみに気づき伝えあうことが特徴です。知識に頼らない自然の伝え方がここに 있습니다!

自然系ガイド・インストラクター大歓迎!

ネイチュア・フィーリングの技術は自然の深い理解の促進に活かされます。

「自然観察指導員講習会」より1段も2段も**深く具体的に**、五感で観察する技術と豊富な事例を学びます。



期日: 2022年 7月 30日(土) ~ 31日(日) 雨天実施 受講者募集中!

30日は、9:30 受付開始 / 31日は、9:00~9:15受付 日帰り二日間 (予定)

- 会場 名古屋市東谷山フルーツパーク 名古屋市守山区上志段味東谷 2110
◇1階会議室で開催、受付します。◇JR高蔵寺駅から徒歩23分。
◇希望者は高蔵寺駅からのタクシー乗り合い割り勘支払いを受けます。
- 受講料 自然観察指導員: 3700円 (テキスト代を含む)
一般の方: 4100円 (テキスト代、当日の保険料を含む)
※遠方等の方はご自身で宿をお取りください。宿は大曾根駅周辺が便利です。
- 定員 30名 ※多数の場合は抽選
- 参加対象 ①~③すべてを満たす方
①満18才以上の方
②2日間の全プログラムを受講できる方
③環境教育の必要性を認識し、自然観察会動の推進に意欲がある方
- 申し込み期間 2022年6月17日(金)~7月17日(日)必着
- 申込み方法 下記専用申込フォームか右記QRコードをご利用ください。

<http://urx.space/AiwX>

※上記フォームを使用されない方は、下記をハガキにご記入の上、裏面下部の日本自然保護協会にお送りください。

- ①氏名 ②性別 ③年齢 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号 ⑦タクシー相乗り利用有無
- ⑧指導員か一般か ⑨メールアドレス(任意) ⑩特別な配慮を要する方はその内容 (該当者のみ)



テキストは2021年に出版し好評を博している本『多様な個性で広がり五感で深める特別な自然観察会 ネイチュア・フィーリング 実践テキスト』
1650円



このネイチュア・フィーリング研修会をきっかけに県内で集まる機会を持ちます。ぜひご参加ください。

主催: 公益財団法人日本自然保護協会・愛知県自然観察指導員連絡協議会

共催: 名古屋自然観察会・名古屋市東谷山フルーツパーク 後援: 愛知県

☆本会は「あいち森と緑づくり税」「なごや生物多様性保全活動協議会の会員活動支援」を活用し開催しています☆

7月30日(土)

7月31日(日)

9	受付 (9:30~10:00)	室内
10	協議会ワークショップ (10:00~12:00) 全国と庄内緑地でのネイチュア・ フィーリング実践紹介 班毎の座談会(仮題) (実施:愛知県自然観察指導員連絡協議会)	
11		
12	昼食 (12:00~13:00)	野外
13	講師紹介・諸説明 (13:00~13:15)	
14	野外実習① (13:15~15:15) まずは体験!五感を使った自然観察を 体験しながら学ぼう	
15	休憩	室内
16	講義① (15:30~16:00) ネイチュア・フィーリングの実践例	
16	翌日の野外実習説明・諸連絡 (16:00~16:10)	

16時10分解散予定

2日目受付(9:00~9:15)		室内
9	講義②(9:15~10:15) ネイチュア・フィーリングの 考え方と進め方	
10	休憩	
11	講義③ (10:30~11:30) からだの不自由な人との観察会で 配慮したいポイントと実践例	野外
12	昼食 (11:30~12:15)	
12	野外実習② (12:15~12:30) 目が不自由な人の誘導の方法	
13	野外実習③(12:30~13:45) ネイチュア・フィーリング 自然観察会をやってみよう	室内
14	休憩	
14	班毎に気付き・学びを出し合おう (14:00~14:30)	
15	ふりかえりの全体共有 講師コメント&質疑応答 (14:30~15:20)	
15	団体紹介(15:20~15:30)	
15	閉講式 (15:30~16:00)	

16時解散予定

3ステップで効果的に学べるプログラム

①実習

五感を活かした観察を体感
☆リラックスして自然を感じよう

②講義

経験豊富な講師から手法
や成功例を学ぶ
☆体感後なので理解しやすい

③実技

学びを活かして早速実践
☆やってみる事が最も学びを定
着させます

観察力を
レベル
アップ

■ 充実の講師陣

鳥山 由子 とりやま よこ

NACS-J 監事、元筑波大学教授

ネイチュア・フィーリングの創設に関わり、
研修会講師を続けている第一人者。自然
教育の講師として国内外で活躍中。

瀬川 三枝子 せがわ みえこ

ネイチュア・フィーリングをすすめる会

20年以上毎月ネイチュア・フィーリングを
実践している。研ぎ澄まされた自然観察
眼で、周囲に発見を与え続けている。

武井 洋子 たけい ようこ

筑波大学附属視覚特別支援学校教諭

生物の授業を通して、目の不自由な
中高生とともに日々発見をしている現
役教諭。

■ 公益財団法人日本自然保護協会(NACS-J)とは

1951年に設立した、全国規模の自然保護団体(NGO)です。日本の自然を守り、豊かな自然を次世代に引き継ぐために、調査研究や自然を守るしくみづくりのための政策提言、自然の魅力や守り方の教育普及など、自然保護活動を展開しています。活動の自主性・独立性を保つために、補助や天下りは受け入れず、約2万人の会員会費と寄付、支援に支えられて活動を行っています。自然観察リーダーの養成を40年以上、3万人以上に実施し続けています。

<お問合せ先> (公財)日本自然保護協会 ネイチュア・フィーリング担当

東京都中央区新川 1-16-10 ミトヨビル2F TEL:03-3553-4101 メール:kansatsu1978@nacsj.or.jp